

広報

東峰

TOHO

5

MAY/2009/Vol. 50 E-mail: kikaku@vill.toho.fukuoka.jp URL: <http://www1.vill.toho.fukuoka.jp>

●岩屋地区 (伊王寺踏切付近)



福岡県東峰村
毎月1日発行



村長あいさつ



東峰村長
高倉秀信

日本一、小さな合併から4年が過ぎ東峰村長選挙が執行されました。このたび再選の榮に浴し、4月24日より引き続き行政運営に務めさせていただくこととなりました。各方面から力強いご支援とご厚情をいただき心より感謝と御礼申し上げます。皆様よりいただきました結果を真摯に受けとめ、初心を忘れず新たなスタートをきってまいります。

東峰村は農林業や窯業を基幹産業とする地域資源豊かな農山村です。商工業、サービス業を始め地場産業との連携によって東峰村は、県下でも名だたる観光の村となり、現在年間120万人の観光客が訪れるまでになりました。「内なる者喜び、外なる者来てとどまる村づくり」を一貫して継承してまいります。

来村客の皆様如何に満足いくサービスを提供していくか、再び行ってみたい、リピータの皆さんにいかんにか年間を通じて何回も訪れていただき、より一層の交流の機会を創設することにより、滞留型から滞在型への村づくりを積極的に推進してまいります。今まで取り組んでまいりました行財政改革を始め、就任当初は、県内唯一の空白地域であったICTも現在のような形にまで整備できましたので、これを更に進めた形での村づくりを進めてまいります。

また、保健・医療・福祉の充実はみんなの願いであり、中でも将来を担う子供は、家族の宝であり、村の宝であり、国の宝です。健やかに育てていくための支援をしております。

学校教育の充実については保小中一貫教育審議会で18年度より検討協議がなされ、本年3月に答申書が提出されました。その答申を受け23年度、小中一貫教育校実現を目指します。ハード部分は村長部局で、ソフト部分は教育委員会、学校、PTAの皆さんのご協力を願うものです。教育の村東峰として義務教育が終了するまでの15年間、保育・教育を通じて国や世界でも活躍できる人材の基礎づくりが培われるような教育環境を創設します。

小さくてもキラリと光る村づくり、持続可能な村づくり、自分でできることは自分達で、地域でできることは地域で、地域でできないことはどうしたらできるか問題・課題を出し合い解決できる方策を見出していきます。民間でできることは民間で知恵と汗を出し住民自治の村づくりを実践します。

今こそ、経済振興に取り組み地域の経済基盤の強化と地場産業の振興に力を注ぎます。

雇用の場、定住促進によって活力ある村づくりを推進します。

住民に直接関わるであろう庁舎の一本化、診療所、雇用促進問題については、村民会議を立ち上げこれからの村の問題・課題を議論していただきます。(住民参画の村づくり)その後、検討委員会、審議会に諮問いたします。

村づくりは住民と行政がひとつの目標に向かって自助、共助、公助の連携と協働が大切です。東峰村の輝かしい未来のため安心、安全で安定した村づくりを目指し、住んで良かったと実感できる村づくりに邁進いたします。

村民皆様の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。



▲高取選挙管理委員長から当選証書が付与されました

おらが村の ニュース&トピックス

長い間お疲れ様でした

■東峰村消防団入退団式

4月5日(日)、東峰中学校体育館において、東峰村消防団入退団式が行われました。前東峰村消防団長金丸伸一郎氏をはじめ、12名の方が退団されました。長年にわたり、地域住民が安心して暮らせる村づくりのためにご尽力いただきありがとうございました。

また、10名の方が新たに入団されました。これから、下川敦団長、小野政司副団長をはじめ先輩団員の指導の下、村の発展に御協力ください。

■退団者



熊谷久男さん 野寄豊文さん 井止正志さん 森山速夫さん 阿波斉志さん 梶原真也さん
熊谷伸治さん 小野豊徳さん 梶原信彦さん 金丸伸一郎さん 小野直利さん 大里義則さん

■入団者 (敬称略)

- 第一分団 鬼丸 尚幸
- 第一分団 梶原 豊生
- 第一分団 熊谷 和也
- 第一分団 小関 孝俊
- 第三分団 東 健一郎
- 第三分団 樋口 英樹
- 第三分団 仲道 吉和
- 第四分団 熊谷 光吉
- 第四分団 熊谷 和也
- 第四分団 室井 祐紀



おらが村の ニュース&トピックス

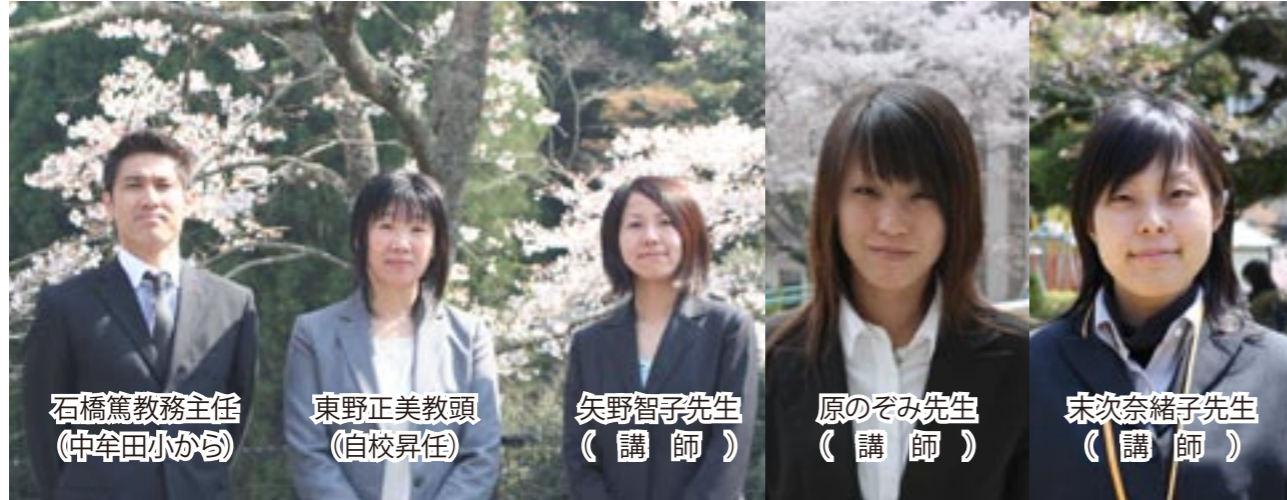
春の人事

■赴任者紹介

4月より村に赴任された方々をご紹介します。皆さんこれからよろしくお願いします。

○教育関係

宝珠山小学校



石橋篤教務主任
(中牟田小から)

東野正美教頭
(自校昇任)

矢野智子先生
(講師)

原のぞみ先生
(講師)

末次奈緒子先生
(講師)

小石原小学校



西見秀俊主幹教諭
(自校昇任)

高倉健先生
(小塩小から)

中村友佳先生
(谷川小から)

樋口典彦教頭
(宝珠山小から)

西岡裕太先生
(講師)

塩足和代先生
(講師)

東峰中学校



高藤広和先生
(浮羽中から)

久保山京一校長
(浮羽中から)

益永裕美先生
(講師)

徳田雅子先生
(特別支援教育支援員)



○宝珠山駐在所

東峰村のみなさん、初めまして。
この度、宝珠山駐在所に赴任しました網治(あみじ)です。
妻、長女(小4)、長男(5歳)の家族4人で赴任してきております。
この村が、今まで以上に安全で安心して生活できる村になるように、一生懸命取り組んでいきたいと思っています。
どうぞよろしくお願いします。
見かけたら「駐在さん」と気軽に声を掛けてください。

宝珠山駐在所 72 - 2024
(不在時) 朝倉警察署 22 - 0110

○役場

4月1日に役場も人事異動がありましたので、ご紹介します。



教育長 室井昭博



公民館長 井上和是

この度、4月1日付で東峰村教育委員会教育長に就任しました。以前、東峰中に教頭で3年、校長で4年勤めさせていただきました。これまでの学校教育にかかわった経験を生かし、微力ではございますが本村教育発展のため、全力を尽くす所存です。特に、学校、家庭、地域との連携を図りながら「学力の向上」および「心の教育」の充実に努めてまいりたいと思います。ご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

この度、4月から東峰村公民館長に就任いたしました井上です。今まで40年以上、木工関係の仕事に従事してきました。公民館の仕事は、多くの団体との連携が重要ですので、大変さを実感しています。たくさんの方々に教えてもらいながら業務をおこなっているところです。これからどうぞよろしくお願いします。

異動後の部署	氏名	異動前の部署	異動後の部署	氏名	異動前の部署
退職	井上克己	会計管理者	総務課・課長補佐	梶原文明	企画振興課・課長補佐
退職	日高正幸	教育委員会・教育課参事	企画振興課・課長補佐	日野 正	住民福祉課・課長補佐
退職	太田多智江	住民福祉課・係長	住民福祉課・課長補佐	梶原浩二	総務課・係長
会計管理者	伊藤国雄	行革推進室長	教育委員会	和田 勲	総務課・IT推進室
教育委員会・教育課長	小林純一	IT推進室長			

ペレットストーブ燃焼実験結果報告 !!

平成20年の3月、皆さんに概要版を配布して
いました「バイオマスエネルギーの有効利用調査」
報告書に基づき、東峰村では広報東峰1月号でお
知らせしていただきましたように、「ペレットストーブ」
の燃焼実験を実施しました。その実験結果を報告
します。

「ペレットストーブ」とは、木質ペレットを燃料
とするストーブです。近年、地球温暖化対策とし
て化石燃料（石油等）の使用に伴う二酸化炭素の
排出抑制の必要性が唱えられています。その対策
の一つとして、間伐材や樹皮が原料の木質ペレ
ットを燃料とする、「ペレットストーブ」が注目を集
めています。



■ペレットストーブ設置場所：東峰村役場小石原庁舎

◆木質ペレット燃料って？

化石燃料（石油や天然ガスなど）に代わり、地球環境に
優しい代替エネルギーとして注目を集めているのが木質ペ
レット燃料です。森林資源豊かな日本にとって、効率的にエ
ネルギーを作り出すことができる木質ペレット燃料を紹介し
ます。



▲木質ペレット

【1】ペレット燃料とは？

ペレット燃料は、再生可能で地球環境にダメージの少ない
木材を原料にした新しい燃料エネルギーです。原料には間
伐材や製材端材が使われ、乾燥→破碎→圧縮することで小
粒状の固形燃料になります。また、灯油等の液体燃料と違い、
漏れたり染みたりする心配がなく、嫌な臭いもありません。CO₂削減に大きな効果が期待できるペレット燃料は、
再生可能な地上資源として、地球温暖化問題の解決策としても注目されています。

【2】木質ペレットって何がすごいのか？

ペレット燃料のもとである樹木は、成長過程で光合成する時にCO₂を吸収しています。それを燃やして出る
CO₂は、もともと樹木が吸収したCO₂が空気中に戻るだけなのです。きちんと植林すれば、再び光合成をし
て大気中のCO₂を吸収しながら成長し、また燃料として活用できる資源となります。この循環を「カーボンニュ
ートラル」と呼び、新たなCO₂を生み出すことはありません。石油などの化石燃料を使用しない分だけ、CO₂削
減ができるエネルギーなのです。

【3】原材料はあなたの近くの山です。

ペレット燃料の主な原料である木材は、森林の手入れのために密集化した立木を間引いた間伐材です。建築木
材としても再利用も難しいことから、これまではお金をかけて燃やすか廃棄するしかありませんでした。ですが、
ペレット燃料が普及することで資源として利用できるようになります。燃料を海外から輸入するのではなく、日本
の森林の手入れをしながら生産することができます。また、地元の山で生産されたペレットを地元で消費するこ
とができるので無駄な輸送費・CO₂の削減にもなります。

◆役場小石原庁舎に設置しているペレットストーブの性能

- ・暖房出力 … 3.4~8.4kw (2,930~7,300kcal/h)
- ・暖房の目安 … 寒冷地(木造22畳、コンクリート36畳)
温暖地(木造21畳、コンクリート30畳)
- ・燃焼効率 … 最大85%
- ・消費電力 … 運転時(128w)、点火時(398w)
- ・燃料タンク容量 … 15kg

◆燃焼実験結果

稼働期間	平成20年11月26日~平成21年4月3日
実稼働日数	76日
実稼働時間	607時間30分
木質ペレット使用量計	830kg
ペレット1kg当りの燃焼時間	44分(平均)
1日(9時間稼働)当りの 木質ペレット使用量	12.3kg(平均)

●1日(燃焼時間：9時間)当りの燃料費…燃焼実験結果より算定

1日(9時間稼働)当りの 木質ペレット使用量	木質ペレット燃料 1kg当りの値段 (50円~70円の場合)	1日(9時間稼働)当りに 必要な木質ペレット燃料費
12.3kg	50円	615円
	60円	738円
	70円	861円

※ご自宅の石油ストーブ等の燃料費と比較してみてください。ファンヒーターのように補助電源も必要になります。

◆燃焼実験を通して…

燃焼実験結果から考えられる事は、設備費や燃料費などが灯油などの
化石燃料に比べて、まだまだ少し高いようです。しかしながら、今後のペ
レットストーブの普及によりこの問題は徐々に解消できるのではないでしょ
うか。

また、木質ペレット燃料には、地球環境の保全や、木のぬくもりの中
での生活、森林の再生、山間地での雇用創出など多くのメリットがあります。
私たちが子どもや孫が安心して暮らせる地球環境を残すために、私たちが
できることを少しずつでも実践することが必要です。一度、家族のみんな
で、地球環境問題について話してみたいと思います。

